



「こんにちは 市長です」

5月10日号

中国の応接間って部屋は広くて真ん中は空間。受け入れる側と表敬訪問側の代表2人が正面に置かれた尻が2つも入るような幅広のソファに、関係者は左右に座る。司会がいるわけでもなく、みんなが着座したところを見計らってまず嘉定区(かていく)人民代表大会常務委員会主任の許さんがあいさつをした。次に出席者を紹介して、「ハイどうぞ」とバトンを渡してくる。初めて会う人に座ったままあいさつをする習慣はないし、隣に座る許さんに目をやりながらしゃべるとするのはなんとも落ち着かないものだ。出席された環境、教育そして開発の責任者が嘉定区の現状を説明してくれた。私もそのたびにコメントするのだがすぐに答えを出してくる。お互いに原稿用紙を見ることなく率直に意見の交換ができた。そして、『青少年交流宣言』ができた。

上海市内から嘉定区まで約1時間、片側3車線は土曜日というのに車でぎっしりだ。無料の高速道路で信号は無いのに、である。脇道から合流してくる車には日本でよく見かける光景、意地悪? して入れないということはない。また、そこにはトラックはない。ベンツが目立ったがセダンかSUVでスズキやダイハツなどの小型車がない。電気自動車は緑のナンバープレート、よく見掛けた。嘉定区までの道路沿いには新緑に覆われた豊富な木々が重なり、その美しさに驚いた。都市部に農村住居は残っているもののマンションの中に吸収されていく。都市部に人口が集中していくからだ。中心街から30分くらい離れたところに2泊したホテルがあった。その周辺には市民会館、図書館、美術館そして大規模な公園が配置されていた。市民会館は安藤忠雄さんが設計したという。素晴らしい光景である。

「交流の記念に桜を送りましょうか」「植物防疫のことは私の方で対処します」。陸副区长さんは喜んでくれた。大きな池の周りに満開の桜、「とてもよく似合う」と思った。